

ごあいさつ

委員長 高橋 裕美

「今年は、出会いとコミュニケーションの種をまくところから始めたいと思います」と年度始めにあいさつさせていだいてから、一年を振り返る季節となりました。皆様に支えられ、計画どおり事業が進められたこと、心より感謝申し上げます。また、日頃より、母親委員会の活動にご理解とご協力いただき、重ねて御礼申し上げます。

今年度も、「命の尊さ大切さ」をテーマに、郡・市PTAの母親委員長の皆様とともに、研修や情報交換をし、子どもたちの健やかな育ちについて、親としての学びを深め、語り合い、伝える活動をしてまいりました。十月に開催された県PTA研修大会では、母親委員会が初めて第4分科会〈家庭教育〉にかかわる喜びつながる心をテーマに運営させていただきました。多くの参加者の皆様と保護者と、学校・子どもと親のコミュニケーションについて学びあう場となりました。コーディネーターの舛田先生より、「現代は一つ家にみんなが集っていたとしても、一人一人がバラバラな生活をしているホテル家族になっている。そうではなく、感情のコンテナが家庭であり、家庭のある家族をつつていくことが大切である」とお話されました。コミュニケーションは、日常生活の中にあるものである、そんなあたりまえのことを気づかされた分科会となりました。社会環境はさまざま変化しても、変わることなく、子どもが安心してつくることのできるあたたかい居場所が家庭であることを実感したところです。

母親委員会では、情報交換、情報・課題を共有すること、伝えることを大切にしております。親も常に学ぶこと、語ることを忘れず、子どもと共に成長していきたいと思っております。今後も、輝く子どもたちの笑顔のために、みなさんつながり、活動してまいります。

パネリスト 田代 拓 氏  
「思い出を通して深めたい  
親子のコミュニケーション」  
と題して、地区で子どもたちと一緒に年10回の育成会やPTA行事の体験を通し、五感を使った子どもとの思いで作りをしながら、コミュニケーションを深めたい。

パネリスト 大木 誠 氏  
「共通体験で再発見！  
お互いの☆(きりり星)」  
と題して、家庭教育力向上を目指してお父さんと子どもに特化した取組を実施。

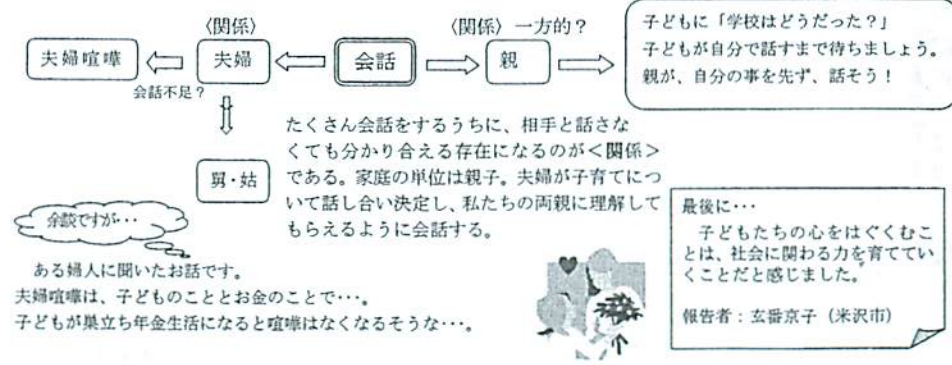
パネリスト 加地 早由里 氏  
「子どもの心に寄り添う」  
と題して、親子関係の土台作りに大切なのは、子どもが愛されていると実感できる家庭でのコミュニケーションではないか…。



コーディネーター 舛田 忠雄 氏 (山大名誉教授)  
意思疎通するには、夫婦関係も親子関係ができるまでは会話が必要！！思春期は、自分の姿を作っていく時期で親に関わりたくはないが、親がなんとなく気になる存在であることが大切。コミュニケーションを通して感情の込められている「家庭のある家族」を築き上げていくことが必要である。

〈県PTA母親委員会での事前研修『コミュニケーション力』 舛田 忠雄氏より〉

〈関係〉をつくる基本は、会話！！  
会話が少なくなっていくと〈関係〉が壊れる



「知れば防げる子宮頸ガン」  
講師 井上 聡子 氏

産婦人科医の井上聡子氏を講師にむかえ、子宮頸ガンワクチンについての研修会を行いました。子宮頸ガンとは何かというところからの勉強になりました。子宮頸ガンは、主にHPV(ヒトパピローマウイルス)というウイルスが原因で発症するガンで、20代、30代で発症率が高いのが特徴です。また、予防接種で防げるガンでもありますが、HPVは元々男女に関係なく普段の生活で誰でも感染するウイルスです。ただし、HPV全てがガンの原因になるわけではなく、発がん性があるのは約15種類程度で、とりわけ子宮頸ガンでは16型と18型の2種類が6割以上を占めています。

最近耳にする子宮頸ガンワクチンはこの二つのHPVの感染を防ぐ効果があるといわれているもので、ほぼ100%防ぐことが出来ます。ただし、全ての女性が予防接種を受けて効果が得られるわけがありません。接種対象学年で一定期間をあけ3回の接種が必要になります。それ以外の年代の方は何となくも検診です。子宮頸ガンは自覚症状がないので、検診での発見が初期治療の近道です。発見が早ければ、100%治すことができ、部分切除になり将来妊娠・出産も望めるそうです。検診を一番受けてほしい若い世代の人たちの意識が低いのが気になりました。予防接種と検診の重要性を十分理解できた研修会でした。



〈研修に参加して〉

子宮頸ガン? 予防ワクチン? ハテナ? がいっぱい状態に参加させていただいた研修会。小学生の男の子しか持たない私には「うちは関係ないかも」と思っていたのですが、話を聞くうちドキッとしてられることがしばしば。子宮頸ガンの発症率が高い世代に自分が当てはまるのです。こわずかたといえ、自分がガンになる可能性があり、原因であるウイルスは誰でも感染することにショックを受けた。検診を受けることでガンになる前に治療することが出来る。聞いて「すぐに検診に行こう」と思いました。

多くのお母さんたちは、私と同じハテナ? を持っていると思います。今回の研修でハテナ? がピクピクに変わっていき、病気を知ることや検診の大切さを少しでも周知できるように情報発信をしていきたいと思っております。

長谷川 美由紀 (東置賜)

あしがき  
編集の打合せなどをしてしていると、数々の活動、研修の様子や皆さんの顔が思い起こされ、一年の締めくくりとなる楽しい作業でした。毎年目にするこのおたより。全てが手作りだった、というのもオドロキでした。  
(副委員長 横山 美香)  
《編集委員》  
高橋裕美 (山形) 横山美香 (天童・東村山) 滝口典 (上山) 篤田千津子 (北村山) 小林敏子 (西村山)







# 平成22年度 各地区の活動報告



## 遊佐町

- 母親委員会開催 (3回)
- ・母親委員研修会 (11月)  
演題 「子どもの便秘と食生活」  
講師 池田 陽子 氏 (遊佐小学校栄養教諭)
- ・母親委員だより (2月発行)

## 酒田市

- ・第一回母親委員長等会議 (7月9日)  
活動報告及び情報交換
- ・酒田市PTA連合会研修大会への協力  
テーマ  
「共に語り広げよう笑顔の輪未来を担う子どもたちのために」  
記念講演「かけがえのない命のために今私たちにできること」  
講師：後藤 敬子 氏 助産師、思春期保健相談士
- ・第二回母親委員長等会議 (1月31日)  
講演会 「やる気と能力を引き出す魔法の質問」  
講師 マツダ ミヒロ氏

## 東田川地区

- ・第1回母親委員会  
活動報告と情報交換
- ・第2回母親委員会  
活動報告と情報交換

## 鶴岡市

鶴岡市PTA連合会合併5周年を迎える今年、全市53校中51校(養護学校・幼稚園各1を含まず)から「我が家の一文字」を募集しました。家族として日頃感じることを文字で表すと? 「笑」が41校の一字になりました。

「母親委員会は何をする会なの?」と、PTA会員の代表であるべき各校の母親委員でさえも疑問を抱いたまま市の全体会議に出席する状況でした。「母親委員会をなくしてしまおう」という声のある中で、昨年度「情報交換の場」で良いので会の存続が決定し、今年度ひきつがれました。そこで、一人でも多くのPTA会員の方に母親委員会を知ってもらおうと本年度の事業方針が決まり、具体的な行動計画として「我が家の一文字」キャンペーンにつながりました。

各単Pの事情が異なる事を理解した上で、その問題を克服する事が最大の成果につながると考えておりましたが現状としてすっきり問題を解決したとは言えない状況と言えましょう。

母親委員会の組織強化にむけた更なる一歩につながる具体策を市Pとしてどう考えていくのか、課題は残されたままになりました。

## 米沢市

- ・第1回母親委員会 (5月8日)  
前年度会計報告・自己紹介・役員選出・本年度活動計画・情報交換
- ・第2回母親委員会 (6月19日)  
講演会「思春期からの性教育」  
講師：鹿俣 修 氏  
(鹿俣体育研究所 上級思春期保健相談士)
- ・第3回母親委員会 (11月20日)  
講演会  
「いま、なぜ子宮頸がんなのか」  
～予防とワクチンについて～  
講師：太田 信彦 氏 (ゆめクリニック院長)
- ・第4回母親委員会 (2月19日)  
研修会「一人ひとりが生き生きと輝くために、話して動いて考えよう」 山形県男女参画センター チェリア塾

## 最上地区

- 年3回の代表母親委員会 開催
- ◆ 地区母親委員会全員研修会 (10月23日)
- 演題  
「子どもの活力は食育から」  
講師：パイオニア・レッドウィングス  
栄養トレーナー  
山口 喜代美 氏
- ◆ 母親委員会だより  
「かあちゃんほっとらいん」発行2月

## 北村山地区

- ・北村山PTA研究集会 (9月)
- ・村山市母親委員会 (9月)  
講師 マツダ ミヒロ氏  
『やる気』を育む魔法の質問
- ・大石町母親委員会 (12月)  
講師 小室 けい子 氏  
子育てを楽しむ  
～子どもの心を見つめて～



## 西村山地区

09月17日に「We can! ビューティ&リフレッシュ」と題してボディヒーリングを実施しました。ゆったりとした動きなのに、体にはきつく…。心地よい汗をかいて、心も体もすっきりしました。

0年に2回、西村山地区の全小学校、中学校の母親委員長が集まり、情報交換を行っています。時間をオーバーしながら熱く語り合っています。

02月におたよりを発行します。

## 天童・東村山地区

- 第1回母親委員会 (6月)  
・各校母親委員会の活動状況  
・アンケート調査結果報告  
・グループ別情報交換  
テーマ「母親委員会の活動の在り方を探る」
- 第2回母親委員会 (10月)  
「母の集い」  
テーマ「大人が変われば子どもも変わる」  
～やる気と能力を引き出す魔法の質問～  
講師：マツダ ミヒロ 氏 (質問家)

## 山形市

- テーマ 『命の尊さ 大切さ』  
～かかわる喜び つながる心～
- ◆定例委員会<5月・7月・2月>
  - ・年間テーマと活動計画
  - ・情報交換 (「コミュニケーションについて」 「単Pの活動」)
  - ・研修 『かかわる喜び つながる心』  
(県P研修大会分科会事前研修として)  
講師： 舩田忠雄氏 (山形大学名誉教授)
  - ◆県P研修大会 山形市開催<10月>  
第4分科会  
<家庭教育>かかわる喜び つながる心  
母親委員会担当
  - ◆拡大母親委員会<11月>  
演題 『子どもと自分が輝く魔法の質問』  
講師 質問家 マツダ ミヒロ 氏
  - ◆母親委員会だより  
「マザーズねっとわーく」3月発行・・・  
全家庭へ配布

## 上山市

- ・母親委員会 (7月、10月)  
県母親委員会の報告、情報交換
- ・研修会の開催  
和菓子作り体験 (11月19日)  
講師 松本 佳子 氏  
(有)十五屋本店  
※約98名参加  
(親子での参加者あり)

## 西置賜地区

- 第1回母親委員会 情報交換
- 第2回母親委員会 情報交換
- 第3回母親委員会 おたより作成

## 東置賜地区

東置賜地区としての母親委員会の活動はありませんが、各単Pでさまざまな取り組みをしています。高島町では、ノーゲームデーを週に1日程度設け、ゲームやテレビの時間を親子のコミュニケーションの時間にする活動をしています。

